
初！平塚・小田原労働基準監督署長合同

新東名高速道路の建設工事

安全パトロールを実施！

平塚労働基準監督署（署長 池田有他（いけだ なおひと））及び小田原労働基準監督署（署長 千葉幸則）では、本年の神奈川県下の建設業における労働災害が増加傾向にあり、両監督署管内の建設業における労働災害も昨年と比較して増加していることから、両監督署管内に跨る大規模建設工事における労働災害防止の取り組み状況について、初めて合同で安全パトロールを実施しました。

- 1 実施日 令和元年12月2日（月）
- 2 実施者 平塚労働基準監督署長、小田原労働基準監督署長
- 3 対象現場
 - 発注者 中日本高速道路株式会社 東京支社 秦野工事事務所
 - 施工者 清水建設株式会社・岩田地崎建設株式会社特定建設工事共同企業体
 - 工事名称 新東名高速道路川西工事
 - 工事期間 2016年7月22日から2022年4月21日
- 4 実施内容 新東名高速道路の建設に当たり、発注者及び施工者が行う労働災害防止のための取組を確認しました。



【塩沢工区】	
工区延長	約1,921m（トンネル含む）
道路掘削	約962千m ³ （捨土掘削含む）
盛土工	約3,055千m ³
重金属対策工	約1,000千m ³
カルバートボックス	2基
トンネル 上り線	約1,207.2m
下り線	約1,167.2m
【向原工区】	
工区延長	約662m
道路掘削	約826千m ³ （捨土掘削含む）
橋台	2基
橋脚	1基
深礎杭	8本（φ2.5m）
大口径深礎杭	1本（φ9.0m）
跨道橋	1橋



パトロールに先立ち、施工者（所長）から工事概要、労働災害防止の取り組みについて説明されました。



ずい道内部の状況
コンピュータジャンボを確認！



連絡装置

Wi-Fi の導入により、通信状況良好。



大型集じん機

作業環境の改善に努めています。



ずい道の切羽部

液体急結剤を用いた大容量吹付により、作業効率が向上しています。



掘削機械の接触防止

作動状況を確認しました。

人を感知すると低速運転に！

現場で説明を受けました AI や ICT 技術を用いた安全管理の一部をご紹介します。

i-constructionの取り組み

ICT-FULL活用工事

- 1 3次元データによるICT土工の全面活用
- 2 土運搬車両の運行管理および安全管理のシステム化
- 3 バックホウマシンガイダンス等への取組み
- 4 盛土材料情報・盛土施工情報をCIMモデルで可視化
- 5 発注者との3次元データの共有・納品方法の確立

**測量・図面・設計数量・施工・出来形管理・納品
すべて3次元で行う**

SHIMIZU CORPORATION IWATA CHEMICAL INC. JV

i-constructionにおける安全の取り組み

ICT建機を用いた施工による安全対策

現場事務所・詰所のパソコンで盛土エリアの設定・重機にデータ転送

重機OPは重機内のモニターで位置情報をリアルタイムに確認しながら施工

丁張りレスによる省人化・測量作業員なしによる安全対策

SHIMIZU CORPORATION IWATA CHEMICAL INC. JV

ドローンを用いて測量を行います。



i-constructionにおける安全の取り組みについて

ICT建機を用いた施工による安全対策

マシンガイダンス バックホウ

- ◆3D設計データに対してバケット刃先位置をオペレータにリアルタイム表示するため丁張りレス施工が可能
- ◆ほとんどの油圧ショベルに適用可能
- ◆2D/3D表示切り替えが可能

SHIMIZU CORPORATION IWATA CHEMICAL INC. JV

覆工コンクリート半自動打設システム

コンクリート打込み高さ感知センサーと、60台の型枠パイプレータ、コンクリートポンプを連動させ圧送・締め・圧送停止を自動化する。(省人化)

SHIMIZU CORPORATION IWATA CHEMICAL INC. JV

重機バックモニター

コンピュータジャンボ プレーカー

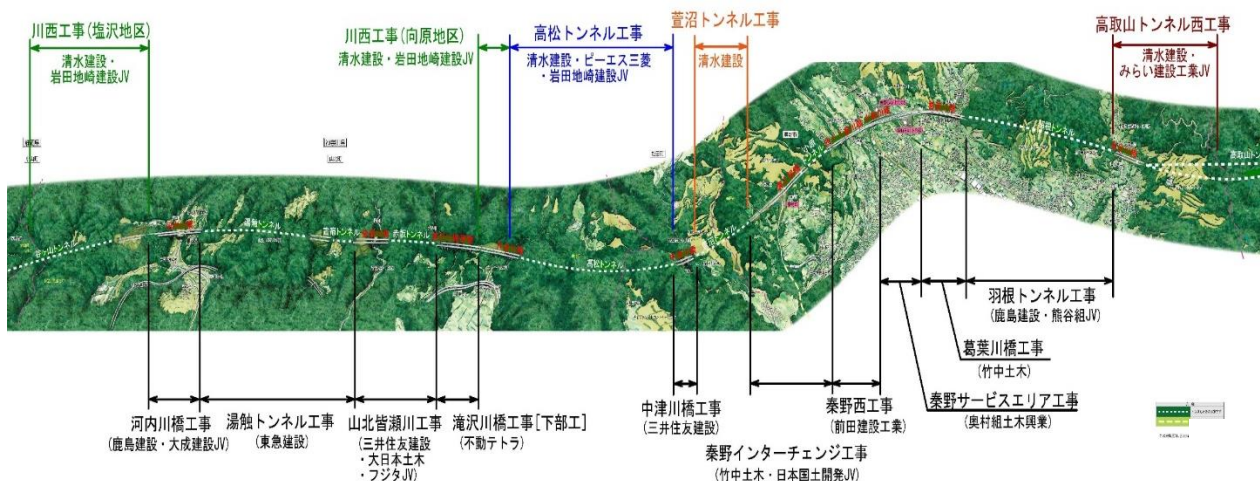
エレクター 吹付機

トンネル坑内重機にバックモニターを設置し、**重機接触災害を防止**

SHIMIZU CORPORATION IWATA CHEMICAL INC. JV

発注者と施工者が協力して ICT 技術を活用することにより、本質安全化の観点から危険の排除（減少）と労働者の負担軽減、さらにコストカット（業務効率化）を実現し、働き方改革にも貢献しています。

夢をかたちに “新東名”



発注者と施工者とともに現場の確認を行いました！



平塚労働基準監督署長（中央）、小田原労働基準監督署長（右から二人目）

建設業年末年始労働災害防止強調期間
 令和元年12月1日から令和2年1月15日
 スローガン
無事故の歳末 明るい正月